

プロジェクトマネジメント講座

5.3 スコープマネジメント スコープ定義

プロジェクト・スコープ記述書とは、成果物に関する詳細な記述書です。要求事項文書・プロジェクト憲章などをベースに、プロジェクト・スコープ記述書を作成します。あいまいなスコープは、コスト増・手直し・スケジュールの遅延・モラルの低下を招く虞があります。

5.3.1 スコープ定義【インプット】

- スコープマネジメント計画書
- プロジェクト憲章
- 要求事項文書

5.3.2 スコープ定義【ツールと技法】

- プロダクト分析 (Product Analysis)
ハイレベルの成果物を理解できる成果物に置き換える方法（抽象的なものを、具体的にする）
- 代替案生成 (Alternatives Generation)
 - ・ブレインストーミング
 - ・水平思考法 … スコープを達成させるための障壁を、異なった角度から見て、妥協点・問題解決点を探る手法

5.3.3 スコープ定義【アウトプット】

- プロジェクト・スコープ記述書

プロジェクトの成果物と成果物を生成するために必要な作業について記載する。主な掲載内容は以下のとおり。

- ・プロダクトスコープ記述書…最終成果物を記述した文書
- ・プロジェクトからの除外事項（境界）…作業範囲と責任範囲
- ・成果物…各工程で作成する成果物の事
- ・受入基準
- ・制約条件 … 制約条件とは、チームの行動を規制する条件（ex：予算，スケジュール等）
- ・前提条件 … 前提条件とは、実証されない真実。つまりプロジェクトを成功させるために必要だと思っている条件のことであり、時間の経過とともに変化する場合があります。